ハウス・オブ・ザ・イヤー 2026
資料③：エネルギー消費性能計算プログラムの入力・出力方法　Ver.1.1

この資料は、応募資料作成のための「エネルギー消費性能計算プログラム（住宅版）」（以下、「計算プログラム」）の入力・出力方法を解説するものです。提出する必要はありません。

計算実行前に、「2026_02_U 値・UA 値計算書.xlsx」に断熱仕様等を入力し、応募する地域区分ごとに以下の値を算出しておいて下さい。

◆外皮面積の合計　◆U_A 値（外皮平均熱貫流率）

◆η_{AC}（冷房期平均日射熱取得率）　◆η_{AH}（暖房期平均日射熱取得率）

計算プログラムを使用するには、インターネットブラウザで以下のアドレスにアクセスし、以下を選択して下さい。

https://house.lowenergy.jp/

「現行版　はじめる」を選択

画面をスクロールし、「エネルギー消費性能計算プログラム」を選択

「使用許諾条件に同意する」を選択

（次ページへ）

※画面は 2026 年 10 月 4 日時点のものです。

この画面で入力・計算・出力を行います

10 月 4 日時点でのバージョンは 3.11.0 となっています

2026 年 10 月 4 日現在、計算プログラムのバージョンは 3.11.0 となっています。
資料③は、これ以降のバージョンで計算した結果を提出して下さい。

1.　入力画面

計算プログラムの画面は以下のようになっています（※お使いのブラウザにより異なる場合があります。また、バージョンアップ等により変更される場合があります）。

2.　入力内容

以下、入力項目タブごとに入力方法を示します。

（1）基本情報

◆住宅タイプの名称

住宅シリーズ名などを入力して下さい。

◆入力責任者

応募ご担当者様の氏名を入力して下さい。

◆住宅の建て方

「戸建住宅」を選択して下さい。

◆住宅の評価方法

「住戸全体を対象に評価する」を選択して下さい。

◆居室の構成

「主たる居室とその他の居室、非居室で構成される」を選択して下さい。

◆床面積

プログラムの初期値（主たる居室 29.81、その他の居室 51.34、合計 120.08m^2）を変更しないで下さい（実際に建設された物件の床面積は入力しません）。

◆地域の区分

応募する地域区分を一つ選択して下さい。

（複数地域で応募する場合は、地域を一つ決めて計算・出力する操作を繰り返して下さい）。

◆年間日射地域区分の指定

太陽光発電又は太陽熱利用給湯設備を採用する場合は「指定する」を選択して下さい。

◆年間日射地域区分

太陽光発電または太陽熱利用設備を採用する場合は、実物件の建設地によらず

1～6 地域の計算では A3 区分（年間の日射量が中程度の地域）

7・8 地域の計算では A4 区分（年間の日射量が多い地域）

を選択して下さい。

応募者間の条件を揃えるため、実際に建設する住宅がどの区分にあるかによらず、地域区分に応じて採用する日射地域区分を定めるものとします。

（2）外皮

◆外皮性能の評価方法

「当該住戸の外皮面積を用いて外皮性能を評価する」を選択して下さい。

◆外皮面積の合計

◆外皮平均熱貫流率（U_A）

◆冷房期の平均日射熱取得率（η_{AC}）

◆暖房期の平均日射熱取得率（η_{AH}）

それぞれ、2026_02_U 値・UA 値計算書.xlsx で算定した値（「UA 値等」シート 111・112 行目）を入力して下さい。特に、**外皮面積の合計をプログラム初期値（307.51）のままとする誤りが多く発生していますのでご注意下さい**。

106	基礎壁・土間外周	A3	83.88	q2+q3	46.32	m_C2	0.166	m_H2	0.220
107	屋根・妻壁	A5	84.20	q5	42.93	mc5	1.375	mH5	1.384
108	窓	A6	28.71	q6	45.94	m_C6	4.709	m_H6	4.535
109	ドア	A7	3.51	q7	6.67	m_C7	0.097	m_H7	0.091
110				q	226.56	m_C	7.595	m_H	7.789
111	右の数値をエネルギー消費性能計算プログラムに入力して下さい	外皮面積の合計	341.47	U_A	0.67	η_{AC}	2.3	η_{AH}	2.2
112									

◆通風の利用（主たる居室・その他の居室）
◆蓄熱の利用
◆床下空間を経由して外気を導入する換気方式の採用
それぞれ、原則として「評価しない、または利用しない」を選択して下さい。

ただし、以下の 1)・2)の条件をどちらも満たす場合は「利用する」を選択してもかまいません。
1) 技術資料(https://www.kenken.go.jp/becc/documents/house/3-1_220401_v16.pdf)の付録 B～D(p.3-1-31)に記載されている「通風を確保する措置」・「蓄熱の利用ありの要件」などの適用条件を、住宅シリーズあるいは企業として標準的に採用している
2) 「2026_01_基本情報・アピールポイント等.xlsx」のアピールシートまたは追加説明シートに、その手法の具体的な内容、写真等を記している

（3）暖房

◆暖房方式の選択
暖房設備を設置したうえでの引き渡しが標準的である場合は、「居室のみを暖房する」「住戸全体を暖房する」のいずれか標準的な方法を選択して下さい。
引き渡し後に施主等が自身で暖房設備を購入・設置するのが一般的な場合は「設置しない」を選択して下さい。

これ以降の選択肢は、選択した暖房方式・機器により変化します。画面の表示およびヘルプボタンの内容に従い入力して下さい。

また、床暖房における「敷設率」「上面放熱率」は、原則としてデフォルト値（「入力しない（規定値を用いる)」および「70%」）を使用して下さい。

（4）冷房

◆冷房方式の選択
冷房設備を設置したうえでの引き渡しが標準的である場合は、「居室のみを冷房する」「住戸全体を冷房する」のいずれか標準的な方法を選択して下さい。
引き渡し後に施主等が自身で冷房設備を購入・設置するのが一般的な場合は「設置しない」を選択して下さい。

これ以降の選択肢は、選択した冷房方式・機器により変化します。画面の表示およびヘルプボタンの内容に従い入力して下さい。

（5）換気

◆換気設備の方式

ダクト式か壁付け式か、第一種か第二・三種か、標準的な方式を選択して下さい。

これ以降の選択肢は、選択した換気設備の方式により変化します。

熱交換換気設備を採用する場合は、次の「熱交換」タブを選択した画面にも入力して下さい。

◆比消費電力

比消費電力で省エネルギー効果を評価する場合、モデル建物（延べ床面積約 120m^2、2 階建て）を想定し、メーカー仕様書および参考資料（https://www.kenken.go.jp/becc/documents/house/5_210401_v07.pdf）などを確認のうえ、標準的と考えられる数値を入力して下さい。

◆換気回数

0.5 回/h を選択して下さい。

◆有効換気量率

第一種換気の場合に入力欄が表示されます。特段の事情がなければプログラムの初期値（「還気が給気に混入することのない場合、・・・（規定値を用いる）」）として下さい。

（6）熱交換

◆熱交換型換気設備の設置

熱交換型換気設備を標準的に採用する場合は「設置する」を選択して下さい。

◆温度交換効率

熱交換ユニット等のメーカーカタログ・仕様書等の値を入力して下さい。

◆温度交換効率の補正係数の入力

特段の事情がなければ、「入力しない（規定値を用いる）」として下さい。

（７）給湯

◆給湯設備・浴室等の有無

「給湯設備がある（浴室等がある）」を選択して下さい。

◆熱源機の種類

それぞれ、標準的に採用する熱源機の分類・種類を選択して下さい。これ以降の選択肢・入力欄は、選択した熱源機により変化します。画面の表示およびヘルプボタンの内容に従い入力して下さい。

なお、太陽熱利用給湯設備を採用する場合は「太陽熱」タブ選択画面、コージェネレーションを使用する場合は「コージェネ」タブ選択画面にも入力して下さい。

◆配管方式

◆台所水栓

◆浴室シャワー水栓

◆洗面水栓

◆浴槽の保温措置

それぞれ、ヘルプボタンで表示される用語の定義等を確認のうえ、標準的に採用する手法・器具等を選択して下さい。

（８）照明設備

◆設置の有無

照明設備を設置したうえでの引き渡しが標準的である場合は、「設置する」を選択して下さい。引き渡し後に施主等が自身で照明設備を購入・設置するのが一般的な場合は「設置しない」を選択して下さい。

以降は画面の表示およびヘルプボタンの説明に従い、標準的に採用する照明器具および制御等について入力して下さい。

（９）太陽光発電

◆太陽光発電の設置

太陽光発電を標準的に採用する場合に「設置する」を選択し、以降を入力して下さい。

◆発電の評価

全量売電を行う場合を除き、「評価する」を選択して下さい。

◆方位の異なるパネルの面数

応募者間の条件を揃えるため、「1 面」を選択して下さい。

◆パワーコンディショナの定格負荷効率の入力

標準的に採用する機種の数値を、メーカー仕様書等で確認できる場合は「入力する」とし、それ以外は「入力しない（規定値を用いる）」を選択して下さい。

◆太陽電池アレイのシステム容量

モデル建物の規模（延べ床面積約 120m^2、2 階建て、切妻屋根）の場合に一般的に導入する際のシステム容量を概算で入力して下さい。必ずしも、図面提出物件の太陽光システムの容量とする必要はありません。

◆太陽電池アレイの種類

◆太陽電池アレイ設置方式

標準的に採用する太陽電池の仕様を選択して下さい。

◆パネル設置方位角

応募者間の条件を揃えるため、「真南から東および西へ 15 度未満」を選択して下さい。

◆パネル設置傾斜角

応募者間の条件を揃えるため、「30 度」を選択して下さい。

（１０）太陽熱利用給湯設備

◆液体集熱式／空気集熱式太陽熱利用設備の設置

太陽熱利用設備を標準的に採用する場合に、いずれか該当する方式の「設置する」を選択して下さい。

選択した内容により表示が変化しますが、いずれの場合もモデル建物の規模（延べ床面積約 120m^2、2 階建て、切妻屋根、4 人家族）を想定した場合に一般的に導入する条件を入力して下さい。

これ以降の選択肢・入力欄は選択した内容により変化しますので、画面の表示およびヘルプボタンの説明に従い入力して下さい。なお、応募者間の条件を揃えるため、

◆集熱部の設置方位角

「真南から東および西へ 15 度未満」

◆集熱部（集熱器群）の設置傾斜角

「30 度」

を選択して下さい。

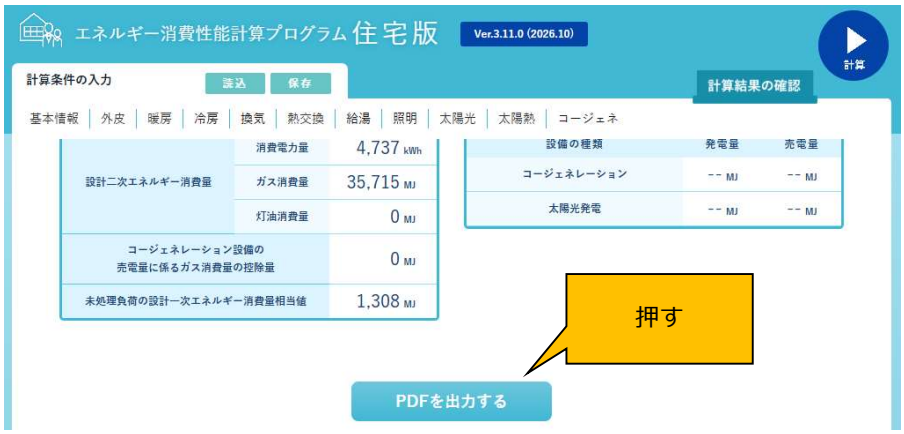
（１１）コージェネ

◆コージェネレーション設備の設置

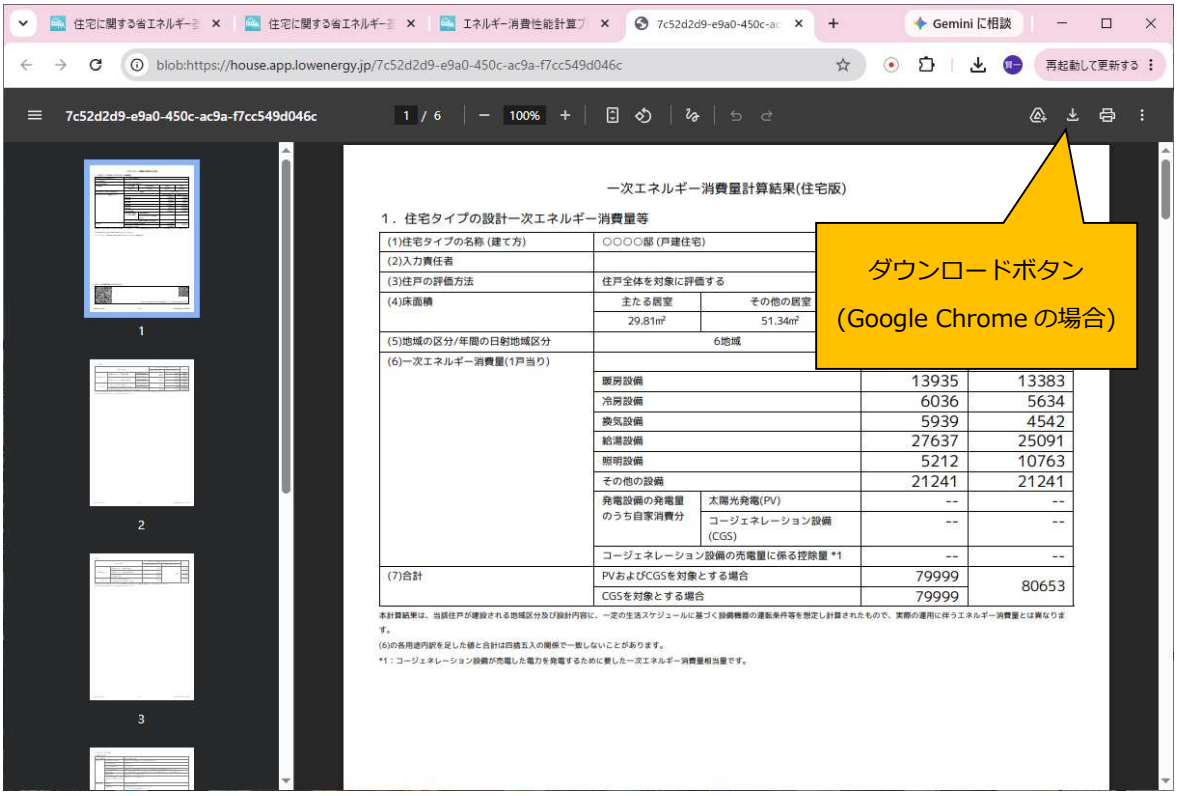
コージェネレーションを標準的に採用する場合に「設置する」を選択し、以降を入力して下さい。その場合、モデル建物の規模（延べ床面積約 120m^2、4 人家族）を想定した場合に一般的に導入する機器を指定して下さい。

3. 計算と PDF ファイルの出力

入力完了後、右上の「▶計算」を押すと計算が実行されます。エラー等が発生した場合は、画面の表示に従って入力内容を修正して下さい。計算完了後、画面を下部にスクロールし「PDF を出力」を押して下さい。



以下のような計算結果 PDF がブラウザに表示されます。ダウンロードボタンを押し、PDF ファイルを保存して下さい。このファイルの名称を変更したものが提出資料③となります（ダウンロード操作方法はブラウザにより異なります）。



応募件数が複数の場合、地域区分等を変えてここまでの一連の操作を繰り返し、応募件数と同数の PDF ファイルをダウンロードする必要があります。

ダウンロード後、どのシリーズ・地域区分に対応する計算結果かを明示するため、PDF ファイルのファイル名を以下のように変更して下さい。

・単一の住宅シリーズ、かつ単一の地域区分で応募する場合：「2026_03.pdf」
・単一の住宅シリーズで、複数の地域区分（例：6 地域と 7 地域）で応募する場合：
「2026_03_6 地域.pdf」「2026_03_7 地域.pdf」
・複数のシリーズ（例：シリーズ名「AAA」とシリーズ名「BBB」）で、それぞれ単一の地域区分の場合：
「2026_03_AAA.pdf」「2026_03_BBB.pdf」
・複数のシリーズで、それぞれ複数の地域区分で応募する場合：
「2026_03_AAA_6 地域 pdf」「2026_03_AAA_7 地域.pdf」「2026_03_BBB.6 地域.pdf」・・・

数値・記号・アルファベットは半角文字として下さい。”_”はハイフンではなくアンダースコア（半角）です。

なお、ダウンロードした PDF ファイルには、ファイル名変更以外の操作はせずに提出して下さい。
・いったんプリンタで紙媒体等に印刷し、再スキャンしたものは×
・PDF 閲覧ソフトで編集等を行ったうえで「名前を付けて保存」したものは×
上記のような操作をした PDF ファイルは事務局での処理に支障が生じますので提出しないで下さい。正しく出力された PDF ファイルのファイルサイズは、おおむね 70～110KB となります。

不明点は事務局にお問い合わせ下さい。